

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1. 答え：む（推量・意志）の口語形 解説：「行か」未然＋「ん」（＝む）。「私は行こう」。
- Q2. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「降る」終止＋「らん」（＝らむ）。「都に雪が降っているだろう」。
- Q3. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「苦しみ」連用＋「けん」（＝けむ）。「どんなに苦しんだであろう」。
- Q4. 答え：願望（他者）「なむ」の口語形 解説：「降ら」未然＋「なん」（＝なむ）。「雨が降ってほしい」。
- Q5. 答え：む（勧誘）の口語形 解説：「来」未然＋「ん」＋念押し「かし」。「あなたも来ようよ」。
- Q6. 答え：らむ（原因推量）の口語形 解説：「なぜ」＋「らん」。「どうして花が散るのだろう」。
- Q7. 答え：けむ（過去原因推量）の口語形 解説：「いかに」＋「けん」。「どうしていたのだろう」。
- Q8. 答え：む（意志）の口語形 解説：「帰ら」未然＋「ん」。「早く帰ろう」。
- Q9. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「いかに」（疑問副詞）＋サ変「す」終止形＋「らん」。「今ごろどうしているだろう」。
- Q10. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「思ひ」連用＋「けん」。「昔の人は何を思ったのだろう」。
- Q11. 答え：む（意志）の口語形 解説：「仕うまつら」未然＋「ん」。「お仕えしよう」。
- Q12. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「住む」終止＋「らん」（＝らむ）。「月の都の人は、今どう住んでいるのだろう」。
- Q13. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「生き」連用＋「けん」。「私の祖はどう生きたのだろう」。
- Q14. 答え：両方ともむ（推量・仮定）の口語形 解説：過ぎば（上二段「過ぐ」未然形＋仮定「ば」）／嘆かん（四段「嘆く」未然形＋推量「む（ん）」）。
- Q15. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「あ」（ラ変連体「ある」）＋「らん」（＝らむ）。「どのような宿世であるのだろう」。
- Q16. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「栄え」連用＋「けん」。
- Q17. 答え：む（推量）の口語形 解説：「知ら」未然＋「ん」。「知る人は知るだろう」。
- Q18. 答え：らむ（現在推量・疑問）の口語形 解説：「来（き）」（カ変連用形）＋完了「ぬ」終止形＋「らん」。係助詞「や」の結びで連体形。「春が来てしまっているのだろうか」。
- Q19. 答え：けむ（過去婉曲）の口語形 解説：「ありし」（過去連体）＋「けん」＋体言「頃」。「古典があったとかいう頃」。
- Q20. 答え：む（意志・勧誘）の口語形 解説：「いざ」＋「参ら」未然＋「ん」。「さあ、参ろう」。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

- Q21. 答え：む（婉曲・連体）の口語形 解説：「行か」未然＋「ん」体言「人」修飾。「行くような人を待つ」。
- Q22. 答え：らむ（現在推量・疑問）の口語形 解説：「来（き）」（カ変連用形）＋完了「ぬ」終止形＋「らん」。係助詞「や」の結びで連体形。「都に春が来てしまっているのだろうか」。
- Q23. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「言ひ」連用＋「けん」。「昔の人もこう言ったのだろう」。
- Q24. 答え：む（仮定・連体）の口語形 解説：「降ら」未然＋「ん」体言「夜」修飾。「雪が降るような夜は寒いだろう」。

- Q25. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「過ぐす」終止＋「らん」。「私の思う人は、どう過ごしているだろう」。
- Q26. 答え：けむ（過去推量・原因）の口語形 解説：「帰り」連用＋「けん」。「雪深い道を、どう帰ったのだろう」。
- Q27. 答え：む（意志）の口語形 解説：「任せ」（下二段未然）＋「ん」。「私に任せよう」。
- Q28. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「いかに」＋「らん」。「都の事は、どうだろう」。
- Q29. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「思し」（尊敬連用）＋「けん」。「大臣はどうお思いになったのだろう」。
- Q30. 答え：む（仮定・意志）の口語形 解説：「あら」未然＋「ん」、「励ま」未然＋「ん」。「あらゆる限り、励もう」。
- Q31. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「聞こゆ」終止＋「らん」。「鳥の声が聞こえているだろう」。
- Q32. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「残し」連用＋「けん」。「先代の人は何を後の世に残しただろうか」。
- Q33. 答え：む（意志）の口語形 解説：「詠ま」未然＋「ん」。「歌を詠もうと思う」。
- Q34. 答え：らむ（現在推量・疑問）の口語形 解説：「来ぬ」（完了「ぬ」終止）＋「らん」。「春が来ているのだろうか」。
- Q35. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「あり」連用＋「けん」。「古き世にはどんな約束があったのだろう」。
- Q36. 答え：む（婉曲）の口語形 解説：「言は」未然＋「ん」。「言うようなことではない」。
- Q37. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「吹く」終止＋「らん」。「心づくしの秋風は、どう吹いているだろう」。
- Q38. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「あきれ」（下二段連用）＋「けん」。「人々は、どんなにあきれたであろう」。
- Q39. 答え：む（意志）の口語形 解説：「こもら」未然＋「ん」。「山深くこもろう」。
- Q40. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「照る」終止＋「らん」。「都の月は、今宵照っているだろう」。
- Q41. 答え：けむ（過去原因推量）の口語形 解説：「ありし」＋「けん」。「なぜこんな事があったのだろう」。
- Q42. 答え：む（意志）の口語形 解説：「討た」未然＋「ん」。「仇を討とう」。
- Q43. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「借る」終止＋「らん」。「どこで宿を借りているだろう」。
- Q44. 答え：けむ（過去推量・詠嘆）の口語形 解説：「侍り」連用＋「けん」＋「かな」。「とても心強かったことよ」。
- Q45. 答え：む（意志・婉曲・連体）の口語形 解説：「見」未然＋「ん」体言「人」修飾。「月を見ようとする人は出ていらっしやい」。
- Q46. 答え：らむ（現在推量・連体）の口語形 解説：「鳴く」終止＋「らん」体言「鳥」修飾。
- Q47. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「学び」連用＋「けん」。「古の聖人は、どう学んだのだろう」。
- Q48. 答え：む（仮定）の口語形 解説：「あら」未然＋「ん」＋「には」。「心強くあるようには」。
- Q49. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「ある」（う変連体）＋「らん」（＝らむ）。「故里の事はどうしているのだろう」。
- Q50. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「過ぐし」連用＋「けん」。「古の友はどう過ごしただろう」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：む（意志）の口語形 解説：「向か」未然＋「ん」。「兵を率いて打ち向かおう」。
- Q52. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「布く」終止＋「らん」。「敵はもう陣を敷いているだろう」。
- Q53. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「し」（サ変連用）＋「けん」。「先陣はどうしたのだろう」。

- Q54. 答え：願望「なむ」の口語形 解説：「おはせ」未然＋「なん」。「お身体も無事でいらしてほしい」。
- Q55. 答え：む（意志・勧誘）の口語形 解説：「参ら」未然＋「ん」＋「かし」。「こちらへ参りましょう」。
- Q56. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「す」終止＋「らん」。「あら、何の音がしているのだろう」。
- Q57. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「苦しみ」連用＋「けん」。「道中、どんなに苦しんだろう」。
- Q58. 答え：む（意志）の口語形 解説：「惜しま」未然＋「ん」。「私は命をも惜しまない（惜しもう）」。
- Q59. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「おはす」終止＋「らん」。「主君は今どこにいらっしゃるのだろう」。
- Q60. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「泣き」連用＋「けん」。「都を出た時、どんなに泣いたであろう」。
- Q61. 答え：む（意志・推量・連体）の口語形 解説：「語ら」未然＋「ん」体言代用。「言うにも言えないことも語ろうものを」。
- Q62. 答え：らむ（現在推量・尊敬と連結） 解説：「給ふ」終止＋「らん」。「どこでお宿りになっているだろう」。
- Q63. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「思ひ」連用＋「けん」。「どんなに心細く思ったろう」。
- Q64. 答え：む（意志・連体）の口語形 解説：「せ」（サ変未然）＋「ん」体言「人」修飾。「お供しようという人は名乗れ」。
- Q65. 答え：らむ（現在原因推量）の口語形 解説：「干す」終止＋「らん」。「ああ、誰のために衣を干しているのだろう」。
- Q66. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「悟り」連用＋「けん」。「古の聖人は何を悟ったのだろう」。
- Q67. 答え：む（意志・連体）の口語形 解説：「起こさ」未然＋「ん」体言「ため」修飾。「軍を起こすためである」。
- Q68. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「傾く」終止＋「らん」。「月は今西に傾いているだろう」。
- Q69. 答え：けむ（過去原因推量）の口語形 解説：「生まれあひ」連用＋「けん」。「どんな宿縁で生まれ合ったのだろう」。
- Q70. 答え：む（意志）の口語形 解説：「せ」（サ変未然）＋「ん」。「どんな事でしょう」。
- Q71. 答え：らむ（現在推量・疑問）の口語形 解説：「見ゆ」終止＋「らん」。「心があって見えているのだろうか」。
- Q72. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「思ひ」連用＋「けん」。「古き世の人も同じく思ったのだろう」。
- Q73. 答え：む（推量・疑問）の口語形 解説：「立た」未然＋「ん」＋係助詞「や」。「雪が解けて、春が立つだろうか」。
- Q74. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「起こす」終止＋「らん」。「風が波を起こしているだろう」。
- Q75. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「伝へ」連用＋「けん」。「我が祖父は何を思い伝えたろう」。
- Q76. 答え：む（推量）の口語形 解説：「なら」（断定未然）＋「ん」。「言うのも愚かであろう」。
- Q77. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「立つ」終止＋「らん」。「海原はるかに波が立っているだろう」。
- Q78. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「終はり」連用＋「けん」。「古い恋はどう終わったろう」。
- Q79. 答え：む（推量・反語）の口語形 解説：「恐れ」（下二段未然）＋「ん」＋「や」。「死を恐れようか（いや恐れない）」。
- Q80. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「聞こゆ」終止＋「らん」。「鶯の鳴く声が谷より聞こえているだろう」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：む（意志）の口語形 解説：「捨て」（下二段未然）＋「ん」。「何の用にも立たない。捨てよう」。
- Q82. 答え：らむ（現在推量・連体）の口語形 解説：「伏す」終止＋「らん」。

- Q83. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「見」連用＋「けん」。「異国の人は何を見たろう」。
- Q84. 答え：む（意志）の口語形 解説：「捧げ」未然＋「ん」。「弓矢の道に身を捧げよう」。
- Q85. 答え：らむ（現在推量・尊敬）の口語形 解説：「給ふ」終止＋「らん」。「帝はお心を痛めていらっしゃるだろう」。
- Q86. 答え：けむ（過去推量・尊敬）の口語形 解説：「給ひ」連用＋「けん」。「義経は、どんな思いでお落ちのびになったろう」。
- Q87. 答え：む（推量・婉曲・連体）の口語形 解説：「知ら」未然＋「ん」体言「者」修飾。「知るような者はいない」。
- Q88. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「待つ」終止＋「らん」。「故郷の親は、今どんなに私を待っているだろう」。
- Q89. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「出だし」連用＋「けん」。「業平の歌は、どうして詠み出したろう」。
- Q90. 答え：む（意志）の口語形 解説：「入ら」未然＋「ん」。「軍の中に紛れ込もう」。
- Q91. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：上一段「ゐる」終止形「ゐる」＋「らん」。「らむ（らん）」は終止形接続が原則。
- Q92. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「語り」連用＋「けん」。「古き世の母は、何を子に語ったろう」。
- Q93. 答え：む（意志・疑問）の口語形 解説：「せ」（サ変未然）＋「ん」。「どうしたものか、ためらって伏せる」。
- Q94. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「思ふ」終止＋「らん」。「暁、鶏が鳴く頃、何を思っているだろう」。
- Q95. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「明かし」連用＋「けん」。「物思いに沈み、夜どおし泣き明かしたろう」。
- Q96. 答え：む（推量・婉曲・連体）の口語形 解説：「逢は」未然＋「ん」体言代用。「御代に二度と逢えるようなことではない」。
- Q97. 答え：らむ（現在推量）の口語形 解説：「住む」終止＋「らん」＋「や」。「紅葉散る里に人が住んでいるだろうか」。
- Q98. 答え：けむ（過去推量）の口語形 解説：「眺め」（下二段連用）＋「けん」。「古き世の人は、どんなに月を眺めたろう」。
- Q99. 答え：む（意志）の口語形 解説：「仕へ」（下二段未然）＋「ん」。「心を尽くしてお仕えしよう」。
- Q100. 答え：らむ（現在推量・疑問）の口語形 解説：「思ふ」（四段終止）＋「らん」。疑問の係助詞「か」を受けた結びで連体形。「春は花、秋は月、いつをおもしろいと思っているのだろうか」。